

【放課後くらぶつばさ】 令和5年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

※ 回答6名/職員6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	移転し、スペースを利用した活動、支援を工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	同性介助、担当制で特性に合わせて支援している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	6	0	構造上、段差があるため、バリアフリー化が難しい。安全に十分配慮していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	0	0	支援会議を充実させていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	年2回実施を継続。活動、支援に反映していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	つばさ便り、ホームページに掲載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	0	今第三者評価の研修を受け、業務改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	年間計画に合わせて実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	担当毎にアセスメントを実施。モニタリング、計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	アセスメントツールは内容の検討の余地あり。今後、より特性に合わせたものも合わせて使用する等、対応していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	会議で、買い物、飲食体験、季節のイベント等を計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	ミュージックケアを導入。活動内容で安定するお子さんもいるため状況に応じた対応が必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	事前準備をしっかりと行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	状態を把握し、個別、集団を組み合わせ実施し、計画に反映していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	担当、送迎予定、活動内容を毎日打ち合わせしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	振り返りをし、反省点、気づいた点を共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	ケース記録を見直し、必要に応じて改善していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	モニタリングを定期的実施、計画も見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	0	0	厚労省、県からの改定部分に関し、理解して対応し、必要箇所は修正していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	様子、状態を把握している者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0	0	学校と下校時刻表、送迎表を活用し連携。保護者への連絡手段として、電話、LINE、メールを活用。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				受け入れ該当児童無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	相談員を通じて情報を共有。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	0	担当者会議に出席し、モニタリング表を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	6	0	今後研修を依頼し、実施する。
	26	公共の場等で、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	0	ドライブで図書館、公園、包括支援センター等利用し、交流を図っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	今後も積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	連絡帳や送迎時の連絡を大切にしている。
	29	対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	研修を受け、個別で希望利用者に実施。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時の説明や日々の活動内容、負担額など、わかりやすく説明することを心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	真摯に受け止め、必要に応じて助言、支援を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	保護者会を開催し、連携、情報の共有の支援を継続する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	迅速な対応を継続し、苦情窓口を分かりやすく掲示する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	つばさ便り、ホームページに掲載。個別でLINEを活用している。

	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	今後も十分に注意していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	視覚でも説明を取り入れ、伝わりやすい工夫をしている。
	37	地域住民と交流する等、開かれた事業運営を図っているか	6	0	0	包括支援センターやボランティアの方の訪問等を継続したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	ホームページに掲載。希望者には配布をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	通報訓練をし、消防の方の指導を受け、実施した。全員が参加できるよう予定を組んでいる。地震の後には、余震に備えての訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	研修を受け、周知し、防止に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	該当者はいないが、研修を受けている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	アレルギーの有無を確認し、支援している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	会議内で共有し、原因と防止策を含めて共有し、今後の支援に活かしていく。